

笹川平和財団米国 (SPF-USA)



笹川平和財団米国 (SPF-USA) は、1990年9月24日、笹川平和財団 (SPF) から30億円の助成金を受け、米国内国歳入法第501条 (c) 項 (3) に定められた非営利法人として、ワシントンDCに設立されました。92年12月の開業以来、日米相互理解の促進を目的として、図書館とアート・ギャラリーの運営を中心に活動していましたが、変動する世界情勢に対応すべく、97年からは関心領域をアジア太平洋地域にまで拡大しました。この変革に伴い、ギャラリーは閉鎖し、図書館機能の充実を図るとともに、米国とアジア太平洋地域の相互理解促進のためのプロジェクトを開始しました。さらに2002年度からは、他組織への助成も開始しています。05年度は3件の助成事業 (助成金総額9万ドル) を行いました (右ページ参照)。

99年度からは、SPF東京の委託を受ける形で、「アジアの声」(Asian Voices) と名付けたセミナー・シリーズをワシントンDCを中心に実施しています (「アジアからの情報発信/フェーズII」事業、24ページ参照)。互いの人的ネットワークを活かしてアジア各国から講演者を招き、米国の政府機関、NGO、シンクタンク関係者などに直接メッセージを伝えるこのセミナー・シリーズは、これまでに計72回 (うち05年度は10回) 開かれ、回を重ねるごとに参加者も増えています。

SPFとSPF-USAは、今後も引き続き緊密な協力関係を保ちつつ、双方の知的蓄積、人脈、地の利を最大限に活用した事業展開、成果発信を行っていきたいと考えています。

政策研究シリーズ

部分助成 East-West Center (東西センター/米国)
2005年度事業費 20,000ドル

本事業は、アジア太平洋地域に影響を与える国内外の政治、経済あるいは戦略にかかわる諸問題について、書籍をシリーズで出版するものです。このシリーズでは、地域内での紛争管理を通じて平和や安全を促進するような政策提言や思考に重点をおいています。

この事業により、『China's Rise: Implications for U.S. Leadership in Asia (中国の台頭：アジアにおける米国の指導力に対する影響)』(Robert Sutter著)、『India's Globalization: Evaluating the Economic Consequences (インドのグローバリゼーション：経済的影響力の評価)』(Baldev Raj Nayar著)、『The Politics of Military Reform in Post-Suharto Indonesia (インドネシアにおけるスハルト政権後の軍事改革)』(Marcus Mietzner著)などが東西センターから出版されました。

これらの書籍は、アジアの政策研究者、研究機関、学術教育機関やジャーナリストなどに配布される予定です。

(単年度事業)

「世界水フォーラムの影響」事業の成果発表

助成 Third World Center for Water Management
(第三世界水資源管理センター/メキシコ)
2005年度事業費 10,000ドル

2004年度に助成した「世界水フォーラムの影響」事業では、水資源にかかわる現行の巨大会議の影響力や費用対効果などの評価、分析を行いました。その結果、現行の巨大会議は、世界的な水資源の管理や開発問題に対して限られた影響力しかもっていないことが明らかになり、今後は明確な目的と目標を立てて、より小規模な地域的な会議を通じた意見交換などを行うべきだという提言が行われました。

第三世界水資源管理センターは、05年に開催された2つの重要な水資源関係会議、「水資源に関する国際ワークショップ」(於ヘルシンキ)ならびに政府、教育関係機関、民間機関やNGOなどから1400人以上の参加者があった「ストックホルム水資源シンポジウム」において、同研究プロジェクトの成果を発表し、関係者から大きな反響を得ました。

(単年度事業)

アジア地域でのNPIサテライト勘定の普及と促進

部分助成 Center for Civil Society Studies, Johns Hopkins University
(ジョンズ・ホプキンス大学市民社会研究センター/米国)
2005年度事業費 60,000ドル

SPFとSPF-USAが共同で助成した事業です。事業詳細は、29ページをご覧ください。

(3年継続事業の1年目)



2005年度に出版された書籍 「政策研究シリーズ」事業



事業の成果が評価され、アラゴン環境賞を受賞した第三世界水資源管理センターのアシット・ビスワス所長 「『世界水フォーラムの影響』事業の成果発表」事業

2005年度「アジアの声」セミナーシリーズ概要

日本における社会変革への寄与：女性、NGO、ポップカルチャー 2005年5月3日 (共催：ハーバード大学女性・公共政策プログラム、日米関係プログラム、ライシャワー日本研究所)

里中満智子 漫画家/原ひろ子 日本女性監視機構代表/メリー・ホワイト ポストン大学教授
NGOやポップカルチャーの分野における女性の活躍は、日本社会に大きな変革をもたらしている。多くの女性が小説家、音楽家、芸術家として成功し、女性団体が老人介護改善のために国民保険制度の改革を推進したり、家庭内暴力の被害者保護のための新しい法律制定などにも影響力を与えている。

ソフト・パワーのハード・インパクト：女性、NGO、漫画と社会変革 2005年5月5日 (共催：在米日本大使館広報文化センター)

里中満智子 漫画家/原ひろ子 日本女性監視機構代表/坂東真理子 昭和女子大学副学長
ソフト・パワーは、日本の社会変革や国際的評価に多大な影響を及ぼしている。今日の日本では、女性の社会進出、NGOの活発な活動などにより市民生活が活性化し、民主的な社会が形成されている。また、漫画などの日本の大衆文化は諸外国を魅了しており、国際的にも日本の影響力を著しく拡大している。

未来を振り返る：日本のナショナリズム復活とその不調和 2005年5月17日

藤原帰一 東京大学教授
北東アジアにおけるナショナリズムの復活は、第2次世界大戦に関する日中韓の歴史認識の相違に一因がある。日本に対する中国と韓国の敵意は、領土問題や高揚した世論による強硬論によりさらに高まっている。この緊張緩和のために、3国はナショナリズムを抑制して政治対話を進めていかなければならない。

アジア経済共同体に向けて：インドの見解 2005年6月16日

ナゲシュ・クマール 発展途上国リサーチ情報システムセンター所長
インドは急激に経済力をつけ、世界経済において重要な地位を占めつつある。地域的な経済統合は、インドや他のアジアの発展途上国の経済成長ならびに貧困の削減に寄与する。現在の2国間あるいは地域間の貿易協定を広域的なアジア経済共同体に拡大していくことは、世界経済にとっても有益である。

現在の日中関係のジレンマ 2005年10月19日

晋 林波 中国国際問題研究所研究員
現在の日中関係は、歴史問題、日本の国連安全保障理事国入り、領土問題を中心に緊張が高まっている。この状況から脱却するためには、中国は歴史問題により柔軟な対応をとり日本の過去の行為を許す姿勢が必要であり、日本は中国に真摯な態度で謝罪し中国の経済と政治力の増大を歓迎する努力をすべきである。

協力を通じた平和と繁栄の構築：21世紀における中国と東南アジア 2005年11月3日

任 暁 上海国際問題研究所アジア・太平洋研究部長
中国は、ASEAN諸国との経済・政治関係改善に向けて努力している。中国とASEAN諸国の協力は、東アジアにおける経済の統合、発展、安定に寄与している。地域内の発展と協力を促進するため、ビジネス・コミュニティや民間部門のイニシアチブの強化、人的交流の拡大、日中間の緊密な関係が重要である。

統合か対立か：日中関係の複雑性 2005年11月29日

高原明生 東京大学教授
日中関係は、経済統合や文化社会交流の拡大、地域内の安全保障や経済協力による緊密な協力を通じて改善されていこう。日本の中国経済発展への協力、2国間ならびに地域内安全保障対話の促進、北東アジア安全保障枠組みの構築、合同プロジェクトでの協力推進が日中関係にとって重要である。

東アジアはどこへ？

2005年12月12日

アンワール・イブラヒム 元マレーシア副首相

マレーシアで開催される東アジア・サミットは、アジアの地域内問題における協力、中国やインドの台頭に対応する戦略を考えるのに有益な機会である。サミットは、地域内の平和と安全の確保、アジアの民主主義強化、国際社会との総合的な関係を改善する東アジア共同体の出現につながっていく可能性がある。

和解する大衆と対立する政治家：冷戦終結後の日韓関係

2006年1月25日

朴 喆熙 ソウル大学大学院助教授

日韓の指導者間で緊張が高まっているが、2国間の関係は改善されている。国民の文化社会交流は進んでおり、互いの大衆文化を熱心に受け入れている。韓国の指導者は歴史問題以外の重要な問題に取り組むべきであり、日本の指導者はより建設的で協力的な韓国との関係構築を図る努力をすべきである。

日米同盟の新たな挑戦

2006年2月27日

船橋洋一 朝日新聞コラムニスト

日米同盟はアジアに安定をもたらしてはいるが、テロリズム、中国の台頭、北朝鮮の核問題、小泉純一郎首相の靖国神社参拝などの課題も抱えている。米国・日本・中国の3極間対話のような形で日本と他のアジア諸国との関係が構築できれば、さらに地域の安定は増すことになるだろう。

各セミナーの詳細については www.spfusa.org/Program/index.htm をご覧ください。



漫画の魅力や人気の背景について、作品を紹介しながら講演する漫画家の里中満智子氏（2005年5月5日）